

平成24年度第2回 函館市企業局経営懇話会 会議録

【開催日時】 平成24年8月24日（金） 14時

【開催場所】 函館市企業局庁舎4階大会議室（アクロス十字街）

【次第】

- 1 開 会
- 2 委員紹介（前回欠席委員）
- 3 議 事
 - (1) 平成24年度第1回函館市企業局経営懇話会会議録について
 - (2) 函館市交通事業経営計画（第2次）の進行管理について
 - (3) その他
- 4 閉 会

【出欠状況】

■委員（出席10名）

（○は出席，敬称略）

所 属 団 体	氏 名	出 欠	所 属 団 体	氏 名	出 欠
公立ほこだて未来大学	木村 健一	○	函館市榎法華地域審議会	木下 恵徳	
財団法人函館地域産業振興財団	三浦 汀介	○	函館商工会議所	矢野 一英	○
北海道税理士会函館支部	石黒 正敏		函館水産連合協議会	古伏脇隆二	
北海道電力株式会社函館支店	品田 聡	○	函館地区バス協会	工藤 利夫	○
函館市社会福祉協議会	佐藤 秀臣	○	函館湯の川温泉旅館協同組合	金道 太朗	
函館市町会連合会	岡嶋 一夫	○	一般公募	田中 正博	○
函館消費者協会	大門 春代	○	一般公募	山本 秀治	○
連合北海道函館地区連合会	米坂 章				

■事務局（出席9名）

秋田企業局長

- ・ 管理部 中谷部長，林総務課長，田畑経営企画課長，中村経理課長，
- ・ 交通部 藤田部長，高坂安全推進課長，石村事業課長，廣瀬施設課長

【会議発言概要】

田畑課長 本日はご多忙中の所、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
会議を始める前に、企業局長の秋田より、皆様にご報告がございます。

秋田局長 皆様、お疲れ様でございます。実は1件、報告をさせていただきます。
皆様、過日の新聞報道、函館新聞のみだったと思いますが、この新聞紙上でご承
知かと思えますけれども、8月の5日、14時頃ですね、湯川町2丁目26番地先
の市道との交差点におきまして、停止信号であったにもかかわらず電車が交差点内
に進入する、インシデントに該当するのではないかという状況が発生致しました。

ここで言いますインシデントと言いますのは、重大事故に至る可能性がある事態
が発生し、なおかつ実際には事故には繋がらなかった潜在的事例、という意味でご
ざいます。

幸いにしてですね、衝突事故発生には至りませんでしたけれども、私共と致しま
しては重大な事故に繋がった可能性があったとしまして国土交通省、北海道運輸局
に報告書を提出致しまして、8月8日には当局から調査官2人が来函し、運転士へ
の聞き取り調査をはじめ、ドライブレコーダーの確認、現地視察も実施し、これを
基に今後、インシデントに該当するか否かについての判断が下されることになって
おります。

私共と致しましては、事故にはなりませんでしたが、インシデントに該当
するかもしれないに関わらず、再びこうした事態が発生しないように、今後とも徹底
した安全運行に努めて参りますので、よろしく願いいたします。以上です。

1 開 会

田畑課長 それでは、本年度、第2回目の函館市企業局経営懇話会を開会いたします。
まず、議事に入る前に、本日の資料について確認したいと思います。

事前に配布させていただきました資料として、第1回懇話会の会議録（案）、函
館市交通事業経営計画（第2次）の冊子、それから、本日、お手元に配布させてい
ただいております、次第、席次表、委員名簿、函館市交通事業経営計画（第2次）
進行管理と記載された冊子、それから、資料のフラットファイル、以上、7点、す
べてお揃いでしょうか。なお、資料のフラットファイルの中に、交通事業経営計画
に関連する用語の解説と、写真付きで当局の保有車両やオリジナルグッズなどを説
明を加えて添付しておりますので、今後、お願いします作業等の参考にしていただ
きたく思います。

2 委員紹介

田畑課長 それでは次に、本日の日程に従いまして、前回の会議で欠席され、本日、ご出席
いただきました委員についてご紹介いたします。

（略）

それでは、議事に入りたいと思いますので、三浦会長、よろしく願いいたしま
す。

3 議 事

(1) 第1回 話会会議 について 三浦会長

それでは、早速ですが議事に入ります。

まず、はじめに、次第に従いまして、前回の会議録の確認をしたいと思います。

事前に各委員に送付されていたと思いますが、内容につきましてご意見がありましたらどうぞ。

各委員

(意見なし)

三浦会長

特にございませんか。それでは、ご意見等ございませんので、会議録については原案のとおりとさせていただきます。

(2) 函館市 交通事業 営計画（ 2次）の 行管理に いて 三浦会長

それでは次に、議事の二つ目、「函館市交通事業経営計画（第2次）の進行管理について」に入りたいと思います。こちらについては、資料等の説明があるとのことですので、事務局の方、よろしくお願い致します。

田畑課長

はい。それでは、「函館市交通事業経営計画（第2次）」、それから、その「進行管理」について、順次、説明をいたしたいと思います。

説明にあたりましては、スクリーンを使用したいと思いますので、大変恐縮ですが、会長および副会長におかれましては、お席の移動をお願いいたします。

なお、内容につきましては、非常にボリュームがございますので、説明時間も全体で1時間程度と長くなってまいります。このため、途中で休憩を挟みたいと思いますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

○計画の概要 等説明

田畑課長

それでは、「函館市交通事業経営計画（第2次）概要版」について、ご説明いたします。

概要版につきましては、スクリーンに映し出し、ご説明してまいりますのでよろしくお願い致します。着席させていただきます。

なお、難しい用語等、途中説明の中で若干出て来るとは思いますけれども、最後の資料の2というところに用語解説を貼付しておりますので、参考にさせていただきたいと考えております。

<資料の説明（略）>

○進行管理の 説明

田畑課長

以上が交通事業の経営計画の概要になりますが、本日の議事となっております「進行管理」とは、この計画に基づいて事業が実施出来ているか、計画に遅れが出ていないか、また、社会情勢の変化などによりまして、計画通り進められなくなったことはないか、などについて、毎年度状況を分析および判断し、計画に基づいた事業実施を適正に管理していこうとするものでございます。

こういったことから、「函館市交通事業経営計画（第2次）の進行管理」につきましても、各項目毎に「進行管理シート」を作成しまして、それぞれ企業局として自己評価を行っております。

それでは、「函館市交通事業経営計画（第2次）の進行管理」について、ご説明してまいりたいと思います。

お配りした資料につきましては、またスクリーンに映し出しまして、ご説明してまいりますので、よろしく願いいたします。

<資料の説明（略）>

スクリーンを用いた説明については以上となりますが、委員の皆様もお疲れのことと思いますので、ここで、5分程休憩をとりたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

なお、休憩後、引き続いて配布しております資料を基に説明をさせていただきますが、会長、副会長は、大変恐縮でございますが、元のお席へお戻りになられますようお願いいたします。

それでは、再開を14時55分としたいと思います、よろしく願いします。

○進行管理 シートの説明

田畑課長

それでは、会議を再開いたします。

進行管理シートの内容について、ご説明させていただきます。

<資料の説明（略）>

以上で、進行管理シートに関する説明を終わりたいと思います。

○進行管理 スケジュールの 説明

田畑課長

それでは最後になりますが、改めて進行管理の今後の作業スケジュールのお話をさせていただきますと思います。

<スケジュールの説明（略）>

なお、次回、第3回の懇話会では、先ほどのスクリーンの資料でもご説明しましたが、各委員から提出されました意見を、当懇話会の意見として、皆様にまとめていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、今回の進行管理の方法などについて、私どもも初めての試みとして行っております。このため、今年度、この手法で実施し、シートの作り方や、皆様からの意見のいただき方、懇話会としての意見のまとめ方など、後に皆様から様々なご意見等をいただきまして、次年度以降の実施の手法などを考えていきたいと思っております。

りますので、よろしくお願いいたします。
それでは、以上で、説明を終わります。

○質疑応答

三浦会長

はい。事務局，説明ありがとうございました。

それでは、以上、交通事業の経営計画、それから、その進行管理について、ひととおりの説明をいただいたわけですが、その中で、意見の記入方法やシートに関する質問等は、後日、受け付ける形になっておりますので、それ以外で、何か、計画そのものなどについて、ご質問等ございましたら、ここで受付したいと思います。
何かございますでしょうか。

品田委員

すみません。

三浦会長

はい。

品田委員

よろしいでしょうか。

三浦会長

はいどうぞ。

品田委員

前回休んで説明を受けられなかったので、ちょっとお伺いしたいんですが、例えば電車でなければいけない理由っていうんですか、バスに、他の交通機関に、代替え出来ないのか、その一番の理由っていうのはどういうふうを考えていらっしゃるのでしょうか。

ある意味、電車の強みというんでしょうか、それはどこの部分と考えているんでしょうか。

三浦会長

それではどなたか。

藤田部長

交通部長でございます。電車の特徴ということになるのかと思いますけれども、電車の強みというのが、ひとつには定時性と言われております。

ですから例えば、今年の冬などは特にそうでしたけれども、冬場の状況においては、電車は強みを発揮すると言われております。

それともうひとつ、一番あるのは観光客の方々や函館市を知らない方々が電車に乗られた場合、軌道があることによって安心して乗れる、というのもございます。

あともうひとつは、いわゆる安全性という部分と言われております。

特徴とするとそういうようなことになりなすけれども、あともうひとつには、二酸化炭素を排出しない、というところも強みになっているかと思っております。

三浦会長

よろしいですか。

品田委員

お客様自体で言うとうどうですか、函館市民でいうと定時性が、一番のバスとの差別化のポイントになるということですか。

藤田部長

なんていうんでしょうか。バスが遅れているとか、そういう意味ではないんですが、ある意味、電車の場合は6分間隔で運行しているという、現在、丁度節電の関係で今は7分間隔ですけれども、6分間隔で運行してますので、いわゆる待たないで、時刻について気にしないで済む、というところが函館の場合には、運行上の利

点になっているのかな、という部分はあります。

- 三浦会長 よろしいですか。それではどなたか他にご意見・ご質問等ありますでしょうか。
今、副会長から話がありましたが、封筒に入れる（提出する）資料はどの資料かということなんですが。
- 田畑課長 封筒にですね、入れていただく資料は、こちらに各シートがございますけれども、このシートの各用紙の下に経営懇話会の意見等という欄がございますので、そこに記入していただいて、その一式を封筒に入れて送っていただきたいと思っております。
- 大門委員 ページ数で言えば、3ページから28ページということですか。29ですか。
- 岡嶋副会長 具体的にね、重い宿題を課せられた訳ですけどもね。
ただ、先程のようにね、ABCで記入するんじゃないんですよ。そういうスタイルにはなってませんもんね。意見等ということですから。
- 田畑課長 ABCDというのは、あくまで局の評価でございまして、先程私の方から説明したアからクまでの回答例というか、ページで言うとはですね。
- 岡嶋副会長 ここの部分は委員の皆さんもね、ちょっと点検しなければ。
- 田畑課長 こちらの資料（進行管理の説明資料）のですね、1番目ありますね、その2ページ目の中段から下の方にですね、懇話会の意見等ということで、アから次のページにまたがったクまで書いておりますので、これを参考にですね、記入していただきたいと思っております。
- 岡嶋副会長 これはね、いいんですけども、局内の評価というのがどうも目に映るわけなんですよ。これは既に評価されているというふうに読むのかね、それとも全くこれにとらわれないで、自由に委員の方々はね、評価項目に従って評価していくんだよ、という考え方なのか。
- 田畑課長 局内の評価は評価としてですね、各委員の皆様独自の判断で記入していただければと思っております。
- 岡嶋副会長 いいんですけどね、それはね、僕はね今、田畑さんの説明をゆっくり聞いててね、ウやエは付けられませんよ。個人的に言うと、やっぱりいろいろ努力されてる中でね、そんな低い評価は出来ないなど。本当に思ってるんですよ。そんなもんじゃないと。
やっぱりね、懇話会と言えど企業局の中で一種の育てていくという発想が無ければ、ここに出席している意味も無いわけですから。だからね、例えば一般的なね、どこかの評価を頭に置きますとね、ABCDの中から選んでくれとか、それにあてはまらない場合は文章表現をしてくれとか、いうのがあればね、よろしいですけどもね。それがなければ。委員の皆さん、どうですか。大丈夫。
- 田畑課長 説明が足りませんでしたけれども、局内の評価そのものは変わりません。その評

価に対する意見をいただきたいということなのですが。

岡嶋副会長 いや、解りそうな気はしますが、大丈夫ですか、皆さん。

矢野委員 その例文を参考に意見を書いて下さい、ということなんですよ。

三浦会長 先程の説明だと、そのままアとかイでいいというようなお話しだと思います。あとは、文章化して書かなきゃならないような問題のあるもの場合は、それぞれ問題の捉え方が委員によって違うから、文章化されるだろうけども、既に完了したから特に意見はない、アでいいよ、そういう説明でした。

田畑課長 はい、そうです。

三浦会長 そうですよね。よろしいですか。皆さん、おわかりになりましたでしょうか。

記号で書けるところは記号でいいと。だけど記号で表現出来ない内容のものは、文章で書くと。そういうお話しでした。

記述方法はそういう形で、記入欄のあるページ一式全部を封筒に入れて、送っていただくということですね。書類の返却の仕方に関しては皆さん了解されたように思いますけど、よろしいですか、その点は。

それでは他に内容的なことでもし何かございましたら、ご意見いただきたいと思っております。

矢野委員 すいません。

三浦会長 はい、どうぞ。

矢野委員 今、ご説明いただいたC評価の6項目という部分だけではなくて、B評価の部分も含めて同じように評価するということでしょうか。

田畑課長 時間の関係から、ピックアップして6項目しか説明出来なかったんですが、20数項目ありますけれども、それについて非常に恐縮ではありますが、よろしくお願ひしたいと思います。

三浦会長 あくまでも、局内評価は評価で出ているので、それを参考にするのは構わないけれども、委員は委員の個人の判断で書いていただきたいと、そういうことになると思います。

どなたか、もう少し内容的なお話しを。

佐藤委員 スケジュールの件ですけれども、8月の27日から9月14日までに、進行管理シートごとに各委員個人の意見を作成して出すように、または疑問のある点、不明な点などがあれば質問事項として、とあるんですけれども、これは特にこの段階での質問等や意見が無ければいけない、ということになるんでしょうか。あとは回答だけでいいということになるんですね、そういうことでよろしいですね。

三浦会長 そうですね、その通りです。

佐藤委員 何がわかって何がわからないのか、よくわからない点があつてですね、分野ごとにこれはわかるなどか、これはちょっとよくわからないな、というのがやはりあるんですよ。そういった点では、今回はじめてのことだつていうこともありますので、我々としても勉強するという意味でもいろんなことでの意見を出すことは出すと、ただそれが必ずしも正しい意見ではないかもしれないですよ。それほど我々が情報を持っているかという、意外とそうでもないというのがあるわけですから、一般的な市民の感覚で意見を出したり評価をする、ということになるんだと思います。

その辺のところは10月の3回目のところでまた意見を出し合いながら、ということ整理していった方がよろしいかもしれませんね。

三浦会長 そういう意味では皆さん、初めての経験でお互い手探りですよ。

岡嶋副会長 多少のバラつきがあつてもね。記入方法やなんかのバラつきがあつてもよろしいわけですよ。

三浦会長 そうすると、あとでまた修正する機会もございますので、とりあえずやってみて何か問題があつたら、その時はもう1回また改める、ということに致しましょう。

それよりもっと、手続き的な話しじゃなくてですね、内容の話はございませんか。よろしいでしょうか。

佐藤委員 今回の説明の中にはそこまではないんですけども、広告の収入のことについて、どの位の収入があつて、全面広告とか、吊り広告とか、いろいろありますけれども、それがどの位の割合なのかということが、ちょっと簡単でいいんですけども教えていただければ。

中村課長 経理課長の中村です。広告料金はですね、平成23年度の決算と言いますか、実績の数字で言いますと、約4千万円でございます。その中で一番大きいのがカラー電車の広告、これが約2千3百万円程でございます。その次が車内広告としていろいろ中吊りですとか、窓に貼つてある広告ですとか、そういうものがございまして、約5百万円。大きいところは大体こういう金額になっております。以上です。

三浦会長 よろしいですか。

佐藤委員 はい。

三浦会長 広告の関係でちょっと教えていただきたいんですけども、広告というのはとりあえず、依頼があると何ていうんですか、図柄とかデザインとか、そういうのは関与せず、オッケーになってしまうんですか。その辺、何か基準があるのかなど。

廣瀬課長 施設課長の廣瀬でございます。一応、公序良俗に反するもの以外と申しますか、嘘の表現とかですね、そういうものは駄目ですが、あとは色彩とかになりますと、実際には個人的な感覚が非常に大きくなってしまつて、なかなか駄目とは言い難いというのが実態でして、現在、町並みに合っていない、ケバケバしすぎるという声も寄せられておまして、なんとかその町並みに調和してもらえよう形でございますね、規制と言いますか、こちらからお願いすることにはなるんですけども、皆さ

んに理解していただけるような形での一定程度の規制をかけるように、今、動いている最中です。

三浦会長 はい、わかりました。
他に何か委員の方から。

岡嶋副会長 ひとつ、いいですか。

三浦会長 はい、どうぞ。

岡嶋副会長 200円で乗れる乗り放題っていう日がありますね、あれは今後につなげるためにその効果というのが、通常の電車の料金で乗ってる時と比べてね、200円っていうのは随分思ったよりありますよ、とか、そんな感触はないんですか。

廣瀬課長 私の方からお答えします。毎年、港まつり期間中、それから6月10日路面電車の日、10月14日鉄道の日、この日だけ200円均一っていうのをやってまして、あくまでも前年対比という比較しかないのが実態なんですね。もう少し長い期間で実験出来れば、ある程度予測は立てられると思うんです。

実は10年以上も前なんですけど、3週間程実験をやったことがあります。その時の結果では乗客は若干増えたんですが、減収の方がちょっと大きかったという結論が出まして、前の経営計画の時も検討課題には入れてたんですが、なんとかその減収分を少しでも少なくする手法がないか、ということのをですね、多方面からいろんな研究はしてきたんですが、なかなかこれといった決め手が見つからない、というのが実態なんです。

ただ、直近の例で先程説明しましたが、熊本市の市電がですね、同じように区間制から均一にしたということをやしまして、そのデータをもった限りではですね、熊本の方はうまくいったという報告をなされておりますので、どうやってその減収部分を補ったかというのをですね、今一生懸命研究してる段階ではあります。

以上です。

岡嶋副会長 ある意味ではね、そういう意味での継続性っていうことでは、例えば個人的にはね、電車に対する市民の意識付けの意味からもね、1に付く日は、1日とか11日とか21日とかね、1の付く日は電車の200円の日ですよと、例えばね、そういう位置付けをしていくことによって継続性にもなるし、そんなのってどうかなと思ったりすることもあるんですよ。これにぜひ書こうと思うんですけど。

三浦会長 他にどなたか委員の方。

山本委員 はい。

三浦会長 はい、どうぞ。

山本委員 細かいことなんですけど、軌道と電車の減価償却の期間というのはどの位あるんですか。

中村課長 経理課長の中村です。軌道につきましては、例えばレールはレール、基礎の部分

は基礎の部分，というふうに細かく分かれている部分がありますが，大体で見ますと約20年。電車につきましては13年というふうになっております，以上です。

山本委員　これは減価償却する時，定率でやってるんですか，定額でやってるんですか。

中村課長　交通の場合は定率になっております。

山本委員　そうすると，わかりました。予算が毎年決まってくるということですね。

中村課長　そうですね，毎年計算して金額を出す，ということになります。

三浦会長　他に何かございますか。もしなければこの辺でこの議題を終わりたいと思いが。

よろしいでしょうか，それでは次の議題に入りたいと思います。

(3) その他

三浦会長　次の議題は「その他」でございます。その他は皆様から特別何かございますでしょうか。特になければ事務局の方から何かございますか。

田畑課長　はい。それでは，事務局から，先ほどのスケジュールでもお話しましたが，次回の会議の日程についてお話させていただきたいと思えます。

次回，第3回目の開催は，10月末頃，具体的には，10月22日から25日の間で考えております。皆様方には，後日，改めて開催のご案内をいたしますので，よろしくお願ひいたします。

また，第3回の開催前に，先ほど皆様にお願ひさせていただきました，経営計画の進行管理シートの評価に対する意見の作成と提出につきまして，時節柄，お忙しいところ大変恐縮でございますが，ご協力をよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

三浦会長　はい。それでは，進行管理の件について，何かございましたら事務局まで各委員からご連絡していただくということでよろしいですね。

それでは，本日の議事はすべて終了しましたので，事務局へお返しします。

4 閉 会

田畑課長　それでは，以上をもちまして，平成24年度第2回函館市企業局経営懇話会を，閉会いたします。皆様，ありがとうございました。